

令和6年度 埼玉県公共事業景観形成指針専門家アドバイス【施工段階】

県営住宅加須北小浜団地

基本設計段階アドバイス（令和元年度実施）への対応

- (1) 建築物を明るくきれいに見せ続ける工夫をする**
→コンクリートのバルコニーとし、一部スリットを設けた。またバルコニーのスラブ端には水切り目地を設け、通路側の防風スクリーンはステンカラーのものを使用した。
- (2) 経年劣化による建築物の汚れを目立たなくするようになる**
→雨だれ等の汚れが目立ちやすい、妻面の大きなコンクリート壁は、重い印象を与えない程度に明度を落とした。手すりは暗い色若しくはステンレス製として汚れが目立たない仕様とした。
- (3) 全体のカラーシステムを組み立てたうえで細部を検討する**
→妻面は濃色とし、ベランダ・共用廊下の外壁基調色である淡色との明度差が2となる色を使用した。また、アクセントとしてマリオンを設けた。
- (4) 団地入口にゲート性を持たせ、住民のアイデンティティとする**
→エントランスには中木を複数配置し、メインゲートをわかりやすくした。
- (5) 見え方を意識した施設のデザインと配置をする**
→建物と駐車場の間に地被類の植栽帯を設けた。また視線については、立上りコンクリートの壁とすることで一定の配慮をしている。道路と駐輪場の間に生垣を設け、エントランス部分には可能な範囲で大きな庇を設けた。更に建物以外の照明柱や受水槽等のフェンスは、トーンを落とし、こげ茶とした。
- (6) 植栽については自治会が維持管理しやすいよう配慮する**
→植栽は虫が付きやすい木、鳥が集まるような実のなる木は避け、常緑樹を中心とした。また、地被類はタマリユウやヤブランといった管理しやすいものとした。

完成した事業の評価 及び 今後に向けたアドバイス

- (1) 基本設計段階アドバイス（令和元年度実施）への対応**
 - 各アドバイスに対し、積極的に取り組んでいる。
- (2) 全体計画について**
 - どのような暮らしをして欲しいのか、という思想を明確にして設計すると、より親しみが持てる空間及び景観を創出することができる。
- (3) 建築物について**
 - シンプルでモダンな仕上がりになっていて良い。さらに良くする工夫としては、バルコニーの立ち上がりに縦スリットのような模様を部分的に入れることで、軽やかなイメージとすることが考えられる。
 - 本件では配管の色彩について黄色みを強く感じるため、明るさや鮮やかさを抑えたベージュやブラウンを採用することが望ましい。また、色の選択が限られる既製品を用いる場合は、設計段階から隠すことを考え、樋隠しをつけるなどの対応が考えられる。
 - 正面性を感じられるよう、エントランスの屋根の部分に色を付けるなどの工夫がされているが、エントランスの上に見える屋外階段の外壁にも工夫があると更に良い。
- (4) 植栽について**
 - 全体的に緑があって良いが、エントランスの植栽が単調に感じるため、ボリュームの変化があるとなお良い。
- (5) 外構について**
 - アスファルトでシンプルに仕上げられており、メンテナンスや修繕を考えると良い点である。手法としてピンコロ石（サイコロ状の花崗岩）を用いて縁石とすると、より質感を高くすることができる。

参考意見

- (1) 住民ニーズの反映**
 - リフォームではなく建て替えなので、住んでいる方の意見を伺い、可能な範囲で反映するとなお良い。
- (2) 駐車場の配置**
 - 駐車場の配置を工夫することで、住民が豊かに使える外構のスペースを増やすことが可能になる。

